



平成 28 年 4 月 20 日

各 位

会 社 名 株式会社東光高岳
代表者名 代表取締役社長 高津 浩明
(コード：6617 東証第1部)
問合せ先 経理部長 宗川 恭浩
(TEL. 03-6371-5000)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 28 年 3 月 25 日に公表しました平成 28 年 3 月期通期連結業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

また、平成 28 年 3 月期決算におきまして特別損失を計上することといたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容

当社の個別決算において、経営成績及び財政状態の悪化により実質価額が著しく下落した、情報・光応用検査機器事業セグメントの関係会社株式について減損処理を実施し、関係会社株式評価損 817 百万円（連結子会社分 663 百万円、非連結子会社分 154 百万円）を特別損失として計上いたします。

なお、連結決算において、当該関係会社株式評価損のうち連結子会社にかかる部分については消去されるため連結業績に与える影響は 154 百万円であります。

2. 平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	115,000	2,100	2,250	1,100	67.81
今回修正予想（B）	115,170	2,690	2,850	1,510	93.09
増 減 額（B－A）	170	590	600	410	—
増 減 率（％）	0.1	28.1	26.7	37.3	—
（ご参考）前期実績 （平成 27 年 3 月期）	111,440	1,525	1,480	1,014	62.53

修正の理由

通期の連結業績予想数値につきましては、親会社株主に帰属する当期純利益において 1,510 百万円と、前回発表予想を 410 百万円上回る結果となりました。これは主に電力機器事業及びエネルギーソリューション事業において、一部の案件の売上が当期に前倒しとなったこと、全社的な経費削減が想定よりも進展したこと等により営業利益、経常利益が増加したことによるものであります。

（注）本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上